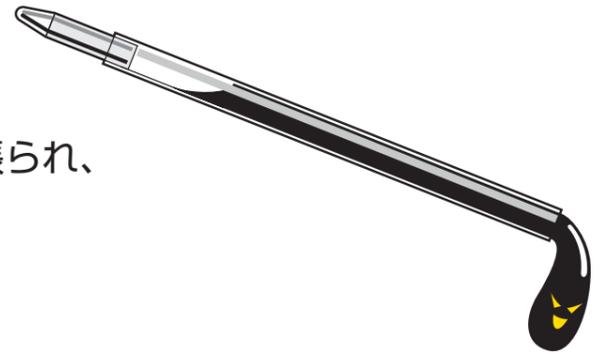


ボールペンが書けなくなる主な理由

1 空気呑み込み 上向き筆記禁止

ペン先を水平より上向きで筆記するとインキが重力により後ろ側に引っ張られ、ペン先から空気が入り書けなくなります。更にそのまま放置するとインキ逆流及び、インキ漏れの恐れがあります。



POINT ペン先が水平より上を向いていないか確認して筆記して下さい。

2 チップ先端損傷 衝撃禁止

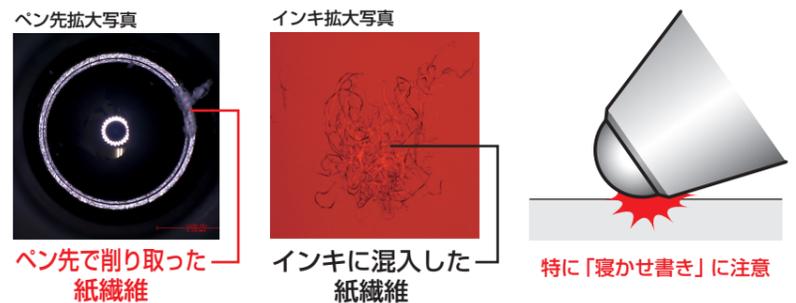
ボールペンのペン先は超精密部品。過度な衝撃を加えると、ペン先が損傷しボール回転の悪化・インキ流路閉塞の原因になります。



POINT 筆記後は必ずペン先を収納、またはキャップをしめて下さい。

3 紙繊維・コート詰まり 適正な紙の使用

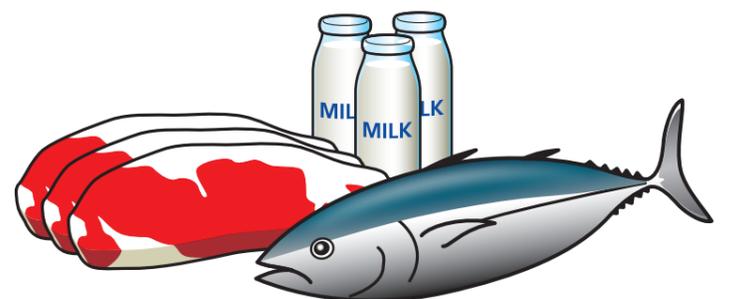
紙によっては、ペン先で紙表面の紙繊維やコート剤を削り取ってペン先を詰まらせることがあります。特に「寝かせ書き」はその大きな原因となりますのでご注意ください。



POINT ノートや手帳のような筆記具に適した紙を選び、ペンを**60度以上**に立てて書いて下さい。

4 インキ変質 インキは生もの

製造から何年も経ったインキは、変質・劣化してしまいます。更に保存状態によっては品質の劣化が早まってしまう場合があります。



POINT 直射日光や高温を避け、できるだけ安定した場所で保存してください。
油性は製造から**3年**、水性(ゲル)は**2年**を目安にお使い下さい。

このような筆記不良は再生させることができません。
ボールペンをお使いの際は、これらにお気をつけ下さい。